

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	人文社会特論H		
英文授業科目名	Researches in Humanities and Social Sciences H		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	5、7学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	執行 一利		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>南アジアの民族問題を主題とする。ここ20年くらいの間に、世界中の各地で民族問題が頻発している。しかし、いったいなぜ異民族同士が対立し、殺しあわなければならないのだろうか。「21世紀は民族紛争の世紀になるだろう」という、歴史学者の不気味な予言があるくらい、人類社会にとって民族問題は深刻な問題になりつつある。そこで本講義では、異民族同士が対立する具体的な現場での事例を紹介し、「傍観者」であることの意味を問いかけたい。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書は用いないが、参考書は授業時に多数紹介する。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業では、南アジアの小国であるスリランカの事例を取り上げる。多数派民族であるシンハラ人と少数民族タミル人の対立抗争の現実を、できるだけ具体的に紹介する。次に両民族がなぜ対立するに至ったかを考察するために、マクロな視点からスリランカの民族構成、歴史、政治などを概観し、日本のマスコミの伝える誤解を正してゆく。次にミクロな視点に転換し、村落社会で今起こりつつある「民族問題」の現実について詳しく述べ、ステレオタイプ的な理解の危険性を指摘する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末に行う筆記試験と出席によって評価する。理解度を確かめるために、小レポートを課す場合がある。

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

常時の出席と授業に対する積極的な参加姿勢が求められる。

【その他】